

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 (15)	食事の嗜好については希望に応じた食事が提供できるように努めているが、最近では食事中にむせ込む利用者が増えているため、せっかくの食事でも誤嚥が気になり楽しめなくなる可能性が高く、誤嚥の予防が必要である	口腔内の筋肉を鍛えて誤嚥の予防ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・頬、顎の下、耳の下のマッサージを行う ・口腔体操等を行う ・利用者がうたえる歌をうたう 	12ヶ月
2	52 (19) 53	現在、テーブル3台とテレビ1台を設置した共同空間で過ごされているが、各テーブルの距離が近いため、利用者同士が揉めてしまうことがある	共同空間で利用者同士が心地よく過ごせる	現在あるテーブルからすこし離れた場所にテーブルとテレビを1台ずつ増やし、気の合う者同士が心地よく過ごせる空間づくりをする	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。